

# 城かべ

(大袋20kg・小袋4kg)



しっくいスタンダードとして長い歴史を誇る城かべ。  
数々の名建築を仕上げ、発売以来二十有余年になります。  
その幾多の実績で培われ、安定した品質は、まさにしっくいの最高峰と  
言えるでしょう。

- 選び抜かれた原料はすべて調合済み、水で練るだけです。
- あらゆる用途に使える汎用タイプ。
- 彫刻、蛇腹引きなどにも活用できます。

## 商品概要

- |      |                                     |
|------|-------------------------------------|
| ①品名  | 城かべ 城かべ小袋                           |
| ②性状  | 白色粉末                                |
| ③主原料 | 消石灰、粉末糊料、植物繊維                       |
| ④荷姿  | 20kgクラフト防湿袋 (小袋：4kgポリ袋ケース6袋詰)       |
| ⑤用途  | 壁上塗り、壁中塗り・屋根・彫刻・蛇腹引き                |
| ⑥用法  | 清水約15Lにて混練 コテ塗り                     |
| ⑦塗面積 | 16.5㎡(5坪)/1.5mm (小袋：3.3㎡(1坪)/1.5mm) |

# 城かべ

## 施工要領

1. 混練
    - ① きれいな練り船に城かべと清水15ℓをいれて、練り楾で充分練りあわせませす。  
(ハンドミキサー使用の場合、容器に水を先にいれておくと練りやすくなります。)
    - ② 油、ボンド等は水で練り上げた後に混入して、改めて充分練ってください。
    - ③ 混練後1～2日置いておくと良く馴染み、塗りやすくなります。
  2. 下地処理
    - ① 左官下地は完全に養生、乾燥させて、ボード類は目地処理をしておきます。
    - ② 表面をきれいに清掃して、シーラー引きまたは水打ちをしてください。
    - ③ より完全な仕上にするには、砂しゅうい(城かべ中塗用、城かべ屋根しゅうい)で下ごすりをしておき、生乾きのうちに追いかけで仕上げてください。
  3. 塗り付け
    - ① はじめに下地に食い込むように全面に薄くしごき塗りして、2回目に厚みを揃えてください。
    - ② 表面が半乾きの状態で金ゴテで押さえていきます。コテ押さえの回数で壁の硬度と耐久性が決まりますので、少なくとも2～3回は丁寧に押さえてください。
    - ③ 仕上がり後、適当な通風をして徐々に乾燥させます。
- ※ 磨き仕上げ
- ① 高級城かべを100メッシュ程度の網でふるったものを水で練り、ノロを作ります。
  - ② ノロを上塗りが乾かないうちに薄く伸ばして、磨きコテで満遍無く押さえます。
  - ③ 水気が無くなり、コテがつかからなくなったら手でこすって艶を出します。
  - ④ 一度艶が出たらネル布でこすって艶を消し、再度手でこすと艶が長持ちします。
- ※ 中塗り、屋根工事  
彫刻・蛇腹引き
- 施工の手引きを参照してください。

## 試験項目(試験方法)

①安定性試験 (JIS-A-6902)	②表面硬度 (JIS-A-6904, 6908)	③接着強度 (JIS-A-6909)	④耐候性試験 (JIS-A-5400 ウェザーメーター)	⑤凍結融解試験 (-30℃～80℃ 10サイクル)
合格	2.6	2.2kgf/cm <sup>2</sup>	異常無し	異常無し

## 施工上の注意

- ① 外壁や水がかかる箇所への施工には必ず「城かべ油」を添加してください。
- ② 材料を1週間以上練り置く場合は糊剤(粉末銀杏草)を追加してください。
- ③ 土中塗りや付着しにくい下地には必ずシーラー引きを施してください。
- ④ コテ押さえはなるべく金ゴテを使用し、プラスチックゴテは磨きだけに使用してください。
- ⑤ 冬期は白華が出やすいので成るべく保温をし、5℃以下の場合施工を避けてください。

製造



田川産業株式会社

〒826-0041 福岡県田川市大字弓削田1924番地

TEL 0947-44-2240

FAX 0947-44-8484